

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

群馬県

学校名

藤岡市立藤岡第一小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年 学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・ 友だちの良いところを賞賛したり、感謝の気持ちをもったりすることにより、友達の良さに目を向け、互いに認め合う。
- ・ 自分の良さに気付き、自己肯定感を高める。

実施した内容

- 「ハッピーハートフルツリー」作り
- ①周りの友達にしてもらったことや友達が学級・学校のために進んで行動したことなどをカードに記入してツリーの模造紙に掲示する。
 - ②2週間の人権週間中にカードの記入を継続して行う。
 - ③模造紙を振り返り、自分や友達の良いところを確認する。

工夫した点

- 対象を日頃関わりのある友達だけでなく、他学年の児童にも広げ、頑張っていること、進んでしていることに目を向けて、他者の良さを認める力が育成されるようにした。

他教科との
関連

全教科

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

群馬県

学校名

藤岡市立藤岡第一小学校

人権課題

高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

第5学年 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

高齢者疑似体験や車椅子体験等を通して、高齢者の生活について理解を深める。ユニバーサルデザインについて知り、「誰もが住みやすいまちづくり」について、どんな工夫があれば安心して生活できるか、自分たちにできることはないかを考える。

実施した内容

- ①資料やスライドを使い、高齢者の生活について知り、高齢者疑似体験や車椅子体験を行う。
- ②ユニバーサルデザインについて知り、高齢者が暮らしやすい工夫について図書やインターネットを使って調べる。
- ③報告書にまとめ、発表会を行った。



工夫した点

- 体験活動を取り入れたり、調べ学習をしたりすることを通して、相手の立場になって考えることの大切さに気付かせるようにした。
- 単元「みんなで生きる」のオリエンテーションでSDGsについて扱い、「3. すべての人に健康と福祉を」「11. だれもが住み続けられるまちづくりを」につながることを意識して活動を行った。

他教科との
関連

- ・国語の意見文を書く単元「みんなが過ごしやすい町へ」と関連させた。
- ・道徳「藤井駅のホームのできごと」（親切・思いやり）

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

群馬県

学校名

藤岡市立藤岡第一小学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

第3学年 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

耳の聞こえない人について知ったり、手話を練習したりする活動を通して、世界には様々な人が生きていることに目を向け、みんなで支え合って生きていこうという心情を育てる。

実施した内容

- ①聴覚障害のある人が手話で会話している様子を視聴したり聴覚障害や手話について本で調べたりしてして、聴覚障害について理解する。
- ②自分の名前を手話で表し、友達と見せ合う。
- ③手話を使って自己紹介や歌の発表会を行う。



工夫した点

- 手話によって会話をする子どもたちの動画を視聴し、自分たちと同じように会話を楽しんでいる姿から、聴覚障害のある人への理解を深められるようにした。
- 手話を、コミュニケーションの手段として捉え主体的に学習できるように、個人やグループでテーマを考えて発表した。

他教科との
関連

音楽

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

群馬県

学校名

藤岡市立藤岡第一小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

第3学年 外国語活動

目標・人権教育のねらい

- ・身の回りの人に自分の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら色や形など欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ・世界の国々のグリーティングカードの紹介を通して、世界にはいろいろな国や言語、文化があるが、人が人を思う気持ちは皆変わらないことに気付かせる。

実施した内容

- ①世界のグリーティングカードを知り、「身の回りの人に、自分の気持ちをこめたカードを作っておくる」というめあてをもつ。
- ②カードを作るために色や形の英語での言い方を学び、欲しい物を尋ねたり答えたりしながらカード作りをする。
- ③相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介する。

工夫した点

- 世界のグリーティングカードを紹介する際に、ALT（フィリピン出身）の国のグリーティングカードを紹介してもらう活動を取り入れた。
- フィリピンでのカードのやりとりについて、日本と違う点もあるが、フィリピンの人々の生活も日本と似ている所がたくさんあり、人が人を思う気持ちには変わりがないことを話してもらった。

他教科との
関連

図画工作

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

群馬県

学校名

藤岡市立藤岡第一小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

第4学年 学級活動

目標・人権教育のねらい

インターネット上のメッセージのやり取りは、便利で楽しい反面、不用意に発信したものが、不特定多数の人に見られたり、気づかぬうちに相手を傷つけたりすることがあることを知り、「ムーブノート」のコメント機能を使用した時に、トラブルになった場面例における原因や解決方法について話し合うことを通して、インターネット上での友達とのメッセージのやり取りで注意して安全に使っていこうとする態度を育む。

実施した内容

- ①「ムーブノート」のコメント機能を使ったトラブル例（直接的な悪口、絵文字の羅列、誤解を受ける言い方）についてその原因を考える。
- ②トラブル例の解決方法について話し合う。
- ③話し合ったことをもとに、「ムーブノート」のコメント機能を使用するとき気をつけたことを決める。

工夫した点

- 児童がまだ未実施で使ってみたい機能を題材にすることで、課題を自分事として考えられるようにした。
- 「生徒指導の3機能」を生かし、クラス全員が活動へ意欲的に取り組めるように、意見を出し合う場面で「ムーブノート」の「みんなの広場」を活用した。意見を表出し（自己存在感）、自分と友達の意見を比較しながら話し合い（共感的な人間関係）、自分の意見を決める（自己決定）ようにした。

他教科との
関連

- ・ 道徳 情報モラル
- ・ 児童会による「ゲーム・スマホの第一小ルール」
- ・ 国語、社会で気をつけたいことを意識しながら実際にコメント機能を使った。